

《研究課題名》

CTにて偶発的に見つかる乳房病変の組織学的解析と乳房悪性腫瘍のCTでの検出率、その他で発見される乳房悪性腫瘍との相違の解析

《研究対象者》

2015年4月1日から2025年7月31日の間に滋賀医科大学医学部附属病院で胸部を含むCT撮影をされた方のうちで乳房病変を指摘されて、滋賀医科大学の乳腺・小児・一般外科にて精査、加療された方。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の診療用に撮影されたCT、MRI画像や超音波検査画像、マンモグラフィー画像とカルテ上に既に記載されている病理結果などの情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法是以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2030年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 放射線医学講座 村上 陽子

(2) 研究の意義、目的について

《意義》

CT画像で早期乳癌を適切に発見するためのCT所見を明らかにし、治療につなげる。日本女性の死亡原因の上位にある乳癌の早期発見、早期治療につながる。

《目的》

CTで偶発発見される乳癌とその他の契機で発見される乳癌のCT所見の共通点、相違点を明らかにすることでCTで拾うべき乳癌を疑う所見を明らかにする。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

本研究は滋賀医科大学単施設での研究です。本病院で撮影されたCT画像で偶発的に発見された乳腺異常について当乳腺・一般外科にて精査し乳癌や良性乳腺腫瘍と診断された症例の画像を詳細に検討します。カルテに記載されている乳腺腫瘍の種類や手術記録などの情報をもとに、CTで検出される乳腺疾患の特徴を検討する。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

CT, MRI, マンモグラフィーなど画像検査データ、病理検査データ、血液データ、診療記録

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 放射線医学講座 村上 陽子

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2536

メールアドレス：monn@belle.shiga-med.ac.jp